



医療と介護の連携支援センターについて

町 田 市

医療と介護の連携支援センターとは

- 正式名称 在宅医療介護連携機能強化型地域包括支援センター



「在宅医療介護連携」の「機能を強化」した

「地域包括支援センター」

- 開設日 2020年4月1日
- 開設時間 午前8時30分～午後5時（土、日、祝日、年末年始を除く）
- 所在地 木曽西4丁目12-22 KISOコミュニティベース1階
- 電話番号 042-794-6527
- 運営法人 医療法人社団創生会（町田病院）

医療と介護の連携支援センターの主な役割

(1) 高齢者支援センター（地域型地域包括支援センター）の後方支援

- ア) 在宅医療・介護連携をテーマとした地域ケア会議の運営支援
- イ) 地域の医療従事者との連携体制の構築支援
- ウ) 医療依存度が高い高齢者の対応支援
- エ) 在宅医療・介護連携に係る勉強会の実施

(2) 市全域の在宅医療・介護連携推進事業の促進

- ア) 医療介護に係る専門職からの相談対応・支援
- イ) 市内全域における在宅医療・介護連携に係る情報の集約及び課題の整理
- ウ) 上記課題に対する対応策の調査、研究及び企画調整
- エ) 市民、医療介護事業者に対する啓発活動

(参考) 機能強化型地域包括支援センター

特定の業務の機能を強化し、当該分野において他のセンターを支援するセンターとして、機能強化型センターを設置することが可能である。

都内では、(a)渋谷区、(b)町田市、(c)武蔵村山市 の、3自治体に設置されている。

なお、機能強化型地域包括支援センターは、次の基準を満たす必要がある。

- (1) 3職種（社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー）を常勤で配置
- (2) 基本4業務の実施
 - ①総合相談支援業務、②権利擁護業務、③第1号介護予防支援事業
 - ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(a)渋谷区：認知症支援に特化

(b)町田市：在宅医療と介護連携に注力（←都内で、町田市のみ）

(c)武蔵村山市：生活支援、介護予防に特化

町田市での在宅医療介護連携の取組 ①

- 町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会

- 発足 2013年度

- 事務局 町田市医師会、町田市

- 参画団体

医療や介護に係る18の専門職団体（事務局を含む）

- 具体的な取組

協議会の開催、研修会の実施、多職種連携ツールの作成・普及、在宅療養の普及啓発 等

- 医療と介護の連携センター（～2019年度）

町田市医師会に委託、在宅医療・介護連携に関する相談・支援業務



町田市での在宅医療介護連携の取組 ②

●高齢者支援センター(地域型地域包括支援センター)が行う地域づくり

▶設置箇所数 市内に12箇所

▶運営形態 業務委託

▶在宅医療・介護連携に関する取組

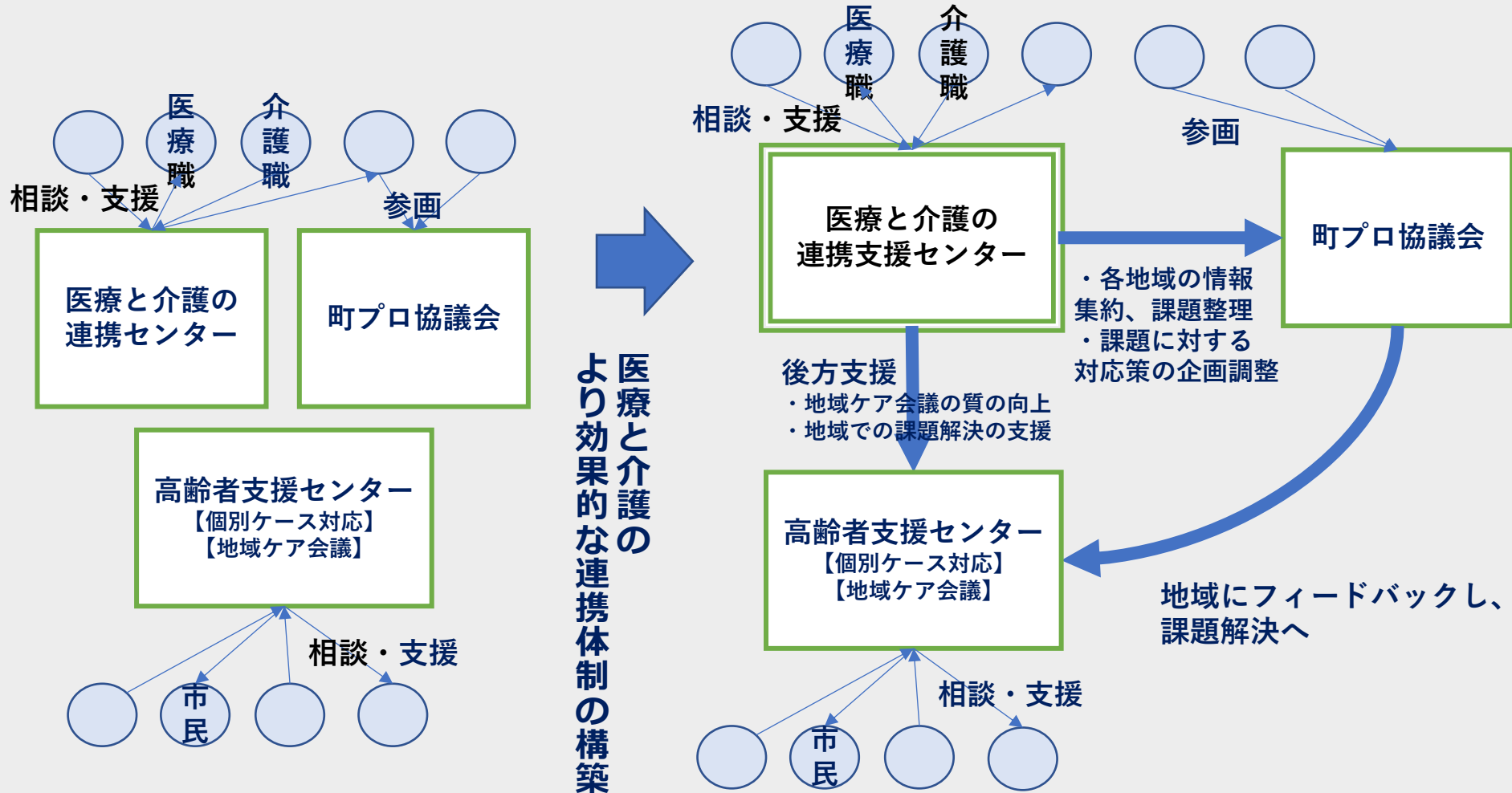
・総合相談・個別支援

⇒地域の医療職・介護職との顔の見える関係づくり

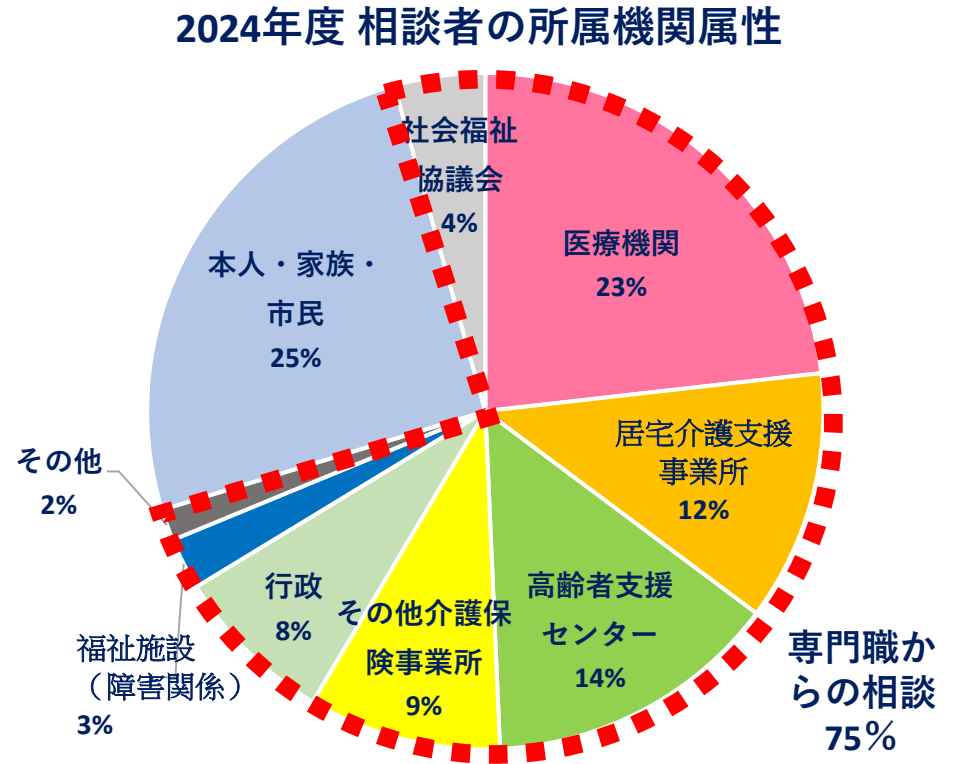
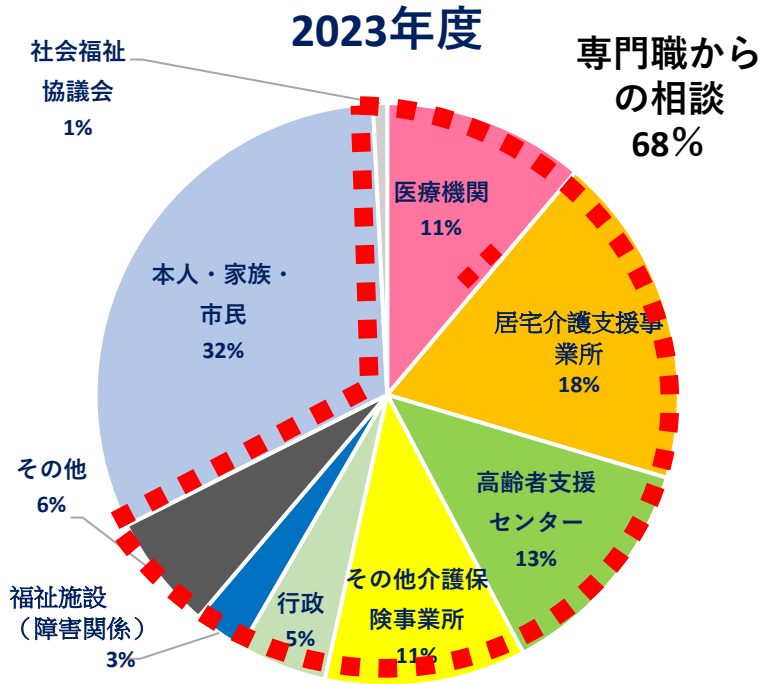
・地域ケア会議

⇒地域に共通した課題の抽出・解決に向けた取組

機能強化の必要性



① 相談対応：相談者の所属機関属性

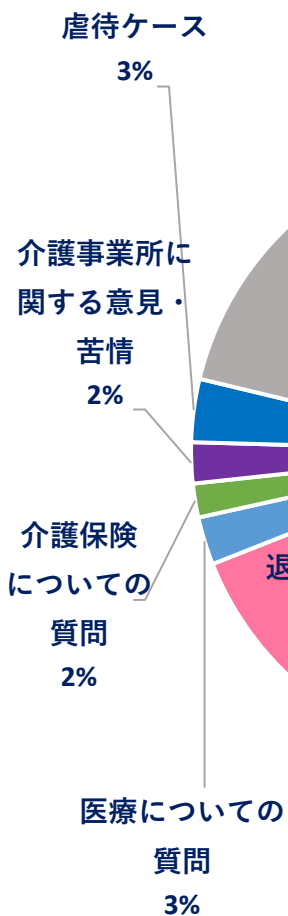


- ・ 医療機関 11% → 23%
- ・ 専門職からの相談 68% → 75%

医療機関や専門職からの相談の明らかな増加

②相談対応：相談内容内訳

相談内容内訳



主な相談内容の傾向

◆ 介護サービスの調整・利用

- ・ 喀痰吸引可能な訪問介護事業所、デイサービスの相談(居宅)
- ・ 医療依存（透析）のある方のショートステイ先の相談(居宅)
- ・ 認知症による問題行動のある方の介護施設の相談(居宅)
- ・ 若年癌末期の障害から介護保険への移行(障害)

◆ 医療サービスの調整・利用

- ・ 専門診療が可能な訪問診療に関する相談
 - ・ 認知症による問題行動がある方の医療機関の相談
 - ・ レスパイト入院先の相談
- 訪問看護・高齢者支援センター・居宅

◆ 医療・介護の連携

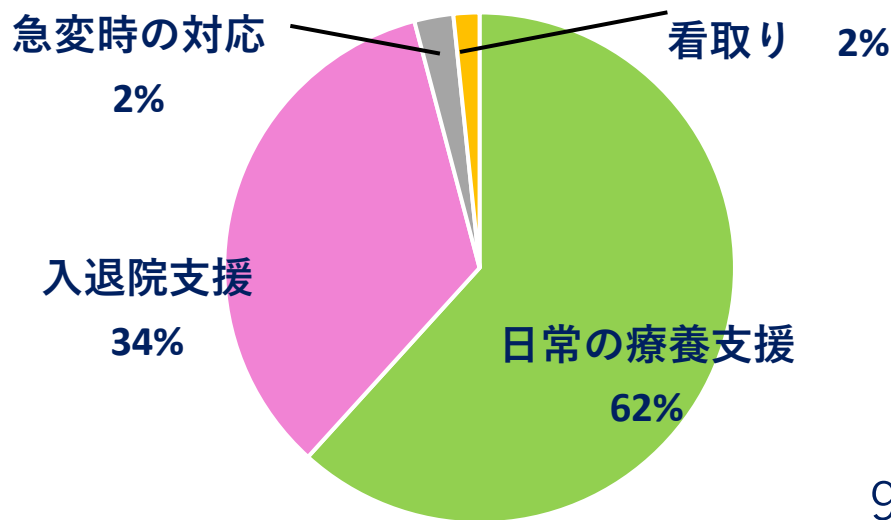
- ・ 他市からの町田市の医療介護資源に関する相談（病院）
 - ・ 身寄りがない方の後見制度についての相談（病院）
 - ・ かかりつけ医がいない方に関する相談
- 病院・高齢者支援センター

③相談対応：相談事例等からみえる課題整理

相談内容を、医療と介護の連携した対応が求められる

①日常の療養支援②入退院支援③急変時の対応④看取りの
4つの場面ごとに分類し、課題の分析を行った。

◆日常の療養支援	：	150件
◆入退院支援	：	83件
◆急変時の対応	：	6件
◆看取り	：	4件



○ 地域ケア推進会議の実施

▶第1回: 病院選択に当たり、医療と介護で困っていることはありますか？

・基調講演 山下 弘一 先生（町田市医師会会長）

「医療機関選択で困ったこと」～症状に応じたMRI検査とCT検査の機能や用途の違いについて～

グループワーク「病院選択にあたり、医療と介護の関わりでそれぞれの立場で困ったこと」

▶第2回: 目的に合った医療機関、さがせますか？

・基調講演 土屋 孝治 先生（町田市歯科医師会理事）

「医療機関選択にあたり知っておいてほしいこと」～訪問歯科でできること～

グループワーク「医療機関を探したことがありますか？」～どのように情報収集しましたか？～

▶第3回: かかりつけの医療と専門の医療

・基調講演 井上 俊 先生（町田市薬剤師会副会長）

「かかりつけの医療」と「専門の医療」の違い～普段の自分を知っている医療機関はありますか？～

グループワーク「かかりつけ医療機関と専門医療機関の使い方・使い分け・連携について」

▶第4回: 近所に作ろうかかりつけ医療機関

・基調講演 増子 達也 先生（町田市医師会理事）

「医師の立場から考えるかかりつけ医」～かかりつけ医という空虚～

グループワークテーマ「かかりつけ医について」

医療と介護の連携支援センターの特徴

- **特定の担当区域を持たない**

⇒ 市内全域から情報や課題を集約

- **医療法人が運営**

⇒ 医療の各種制度に精通、法人内の医療職と連携した対応

- **地域包括支援センターとしての運営**

⇒ 高齢者支援センターと連携した対応

高齢者支援センターに対する具体的な後方支援の実施
市と連携し、地域からのボトムアップによる政策形成